

問題山積みの見切り発車 — 美術館建設問題

「美術館貧乏」に陥らないために

3月定例会に52億円を超える美術館建設工事費の一部として24億円の建設予算が提出されています。契約を結べば後戻りはできません。この費用を捻出するために、子育て・福祉など市民の生活に不可欠な行政サービスが圧縮されることとなります。市は令和7年12月の竣工を目指しているとのこと。

1 美術館の建設費 52億円以上

費用捻出のために市民サービスの低下へ

美術館の建設費用は52億円以上、関連する費用を含めると57億円になるとも指摘されています。市民税を収めている納税者1人あたり約2万円にのぼります。このほか美術館が建設された場合、毎年、約2億5,000万円ともいわれる運営経費がかかります。

かねてから、著名な美術館がたくさんある東京へのアクセスが便利な川口に美術館が必要なのかとの批判がありました。川口市は、これだけの費用をかけて美術館を建てるべきなのでしょうか？



新美術館イメージ図
出所：美術館建設基本設計

川口市が美術館建設のために支出をすれば、その分だけ他の行政サービスが削られることとなります。すでに現実となって表れつつあります。

例えば、令和5年に値上げされた給食費について、急激な物価高騰による影響を緩和するため値上げ分を公費負担とされてきましたが、令和6年9月から保護者に転嫁されます。老朽化のため必要とされてきたグリーンセンターの改修は先送りとされました。美術館の建設費を捻出するために市民の貴重な財産である市有地（例えば、当初、美術館建設予定地とされた栄町公民館など）が売却される危機に瀕しています。まとまった土地にとって貴重な財産です。災害時の活動拠点としてだけでなく、

平常時でもオープンスペースとして、市街化が進んだ川口市において、軽々しく売却すべきではありません。

2 ずさんな建設計画

大規模事業なので慎重な計画に基づいて行われるべきですが、実際には「思いつき」のような経緯をたどってきました。

(1) 明確な理由なく建設地の変更

市長の諮問機関である「川口市美術館建設基本計画・基本構想審議会」は、令和2年に川口駅東口にある栄町公民館跡地を答申し、建設計画を進めてきましたが、明確な理由も示されず、西口にある川口市総合文化センター（リリア）横に変更されました。

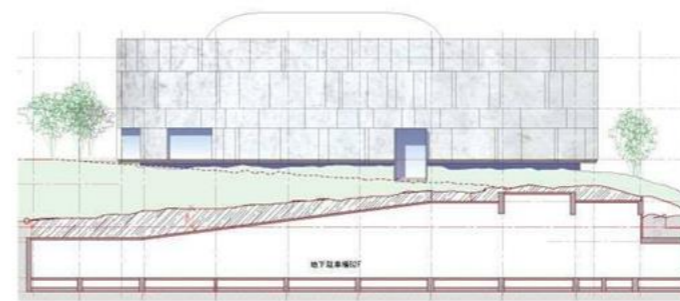
(2) 運営方針も朝令暮改

美術館を直営で運営するのか、それとも指定管理制度で運営するかについては、いまだ検討中とのこと。市は、昨年12月定例会で独立採算制を持ち出しましたが、利用料金や予想される利用客数を示すことができず、この3月議会では「困難」とし、事実上撤回しました。

(3) 古い基礎の上に建てても大丈夫？

美術館は川口市西口地下公共駐車場の上に建設されます。地下駐車場は、すでに建設後33年が経過しているため、美術館の建設後15年たてば、耐用年数を迎えることとなります。市は、地下駐車場の寿命化を図っていますが、最悪の場合建物の耐用年数を迎える前に使えなくなる可能性も否定しきれません。

このような現状で美術館建設に踏み切っているのでしょうか。



美術館の断面図。西口駐車場の上に建設される 出所：市提供資料

鉄筋コンクリート造りの構造物は細かなひび割れなどから侵入する水などにより劣化が進行します。市は、長寿命化をはかっていますが、最悪の場合、地下駐車場の

老朽化のため、美術館の耐用年数が残っているのに使えなくなるという危惧がぬぐえません。

3 市民の合意不在

最大の問題は、これだけ大きな事業であるにもかかわらず、市民の合意がないことです。間での建設契約が結ばれてしまえば、もはや後戻りできません。川口市は多くの市民の疑問の声がある中、見切り発車をしようとしています。

川口駅停車に420億円 — 中距離電車停車問題

川口駅へ上野東京ライン停車のために必要な費用についてJR東日本から約420億円という工事費の見込みが示されました。川口市は、協議をすすめて、合意ができ次第、JR東日本との協定を結ぶとしています。巨額な市税が投じられる事業であり、慎重な検討が期待されますが、実際には停車させることが前提とした、極めて杜撰（ずさん）な計画であることがわかりました。

1 「費用」対「効果」は？

約420億円は、納税者1人あたり約13万円になります。川口駅を利用するか否かにかかわらず、これだけの支出に同意があることが前提になるはず。しかも、この費用は今後増加する可能性もあります。

一方、市は約420億円という投資に対して1.63~1.89倍の経済効果が見込まれるとしています。しかし、この効果は、乗り換え等がなくなることによって短縮された時間を金銭に換算したものにはすぎず、だれの収入に結びつくものではありません。実体のない見かけ上の効果にすぎません。

また、市は「市民の安心感や満足感の向上」ネットを活用したアンケート調査を行っていますが、この調査では「母集団」と「サンプル」の同一性という統計上の最も重要な原則を満たしたものではありません。



自由通路・改札の整備
計画案 出所：川口駅再整備基本計画（案）

2 京浜東北線ストップ時の代替？

京浜東北線の運行が止まったときに、代替ルートとして期待できるということが停車を目指す理由とされています。確かに京浜東北線が停まったときには、川口駅の混雑は激化します。代替性を期待したいところですが、答弁によれば、代替路線としての根拠は1ヶ